



# ばいりん

令和6年2月号

横浜市立梅林小学校

TEL 045-773-0341

FAX 045-772-4862



## 楽しむとは

副校長 花本 敏夫

「自分が楽しんでいる姿を思い浮かべてみましょう」と言われたら、どのような姿を思い浮かべますか。「旅行に出かけたりスポーツをしたりと好きなことをやっている姿」「好きなものを食べている姿」「テレビを見ている姿」「家でゆっくりしている姿」等、人によっていろいろな自分の姿を思い浮かべると思います。

先日、校庭で子どもたちが、サッカーをやっている様子を見ました。その中で、とても上手にプレーする子がいて「あれだけ自由自在にボールを操れたら楽しいだろうなあ」と思いました。

それを見ていて気付いたことがあります。「自由にボールを操れるのは楽しい。でも、その楽しみを得るためには、ボールを自由に操るための努力が必要である」ということです。つまり、努力の先に楽しさが見いだされるということです。

自分が思ったように「シュートが打てる」「ドリブルができる」「パスが出せる」という力を獲得した中でこそ得られる楽しさがあるわけです。

もしかしたら、その力を獲得するまでの過程には「つまらないな」「やめたいな」といった、楽しさとは反対の感情を抱くこともあるかもしれません。そのとき、「それでもやり続けるのか、やめて違う道を進むのか」どちらの道も選択するのは自由です。違う道に進んでも、そこで努力して新しい道を切り開き楽しさを見出すこともできます。

ただ、どのような道であろうと、困難な壁を乗り越えなければ、その先にある楽しさは見出せないのではないのでしょうか。

子どもたち一人ひとりが他者と自分を比べるのではなく、自分自身の力を見つめ、今までの自分を超越えることを通して得られる楽しさを経験してほしいと考えています。

これからも、無限の可能性を秘めた子どもたちが、自分を信じて挑戦する過程を、チーム梅林として保護者、地域の皆様とともに、支え励まし続けていきたいと思えます。